

## 第5次地域福祉活動計画案に対するご意見

- (1) 募集期間 令和3年2月1日から2月10日まで
- (2) 募集方法 社会福祉協議会ホームページにて
- (3) ご意見をいただいた方 3名  
ご意見の数 16
- (4) いただいたご意見

	項 目	内 容	回 答
1	基本目標1-(1)	企業との連携について、どのように取り組むのか	<p>企業への取り組みについては、ボランティア活動(災害時を含む)への参画や寺子屋事業への参画、食料支援のための食料提供等の協力を呼び掛けていきたいと考えています。</p> <p>本計画に十分盛り込むことはできませんでしたが、本計画を推進する中で、企業との連携については検討し、取り組みに加えていきます。</p>
2	基本目標1-(1)	<p>「実現に向けた社協の取り組み」の「これまで参加がなかった住民層への働きかけ」は難しく大変だと思います。この住民層はどのような層を対象にしているのでしょうか？対象層によって働きかけ方も変わるかと思えます。また地域や福祉に関心が薄い人への働きかけは既存の取り組みから新たな取り組みも必要になると思えます。なぜ地域や福祉に関心が薄いのかの理由、原因を探って、そこからどうアプローチしていったら良いのかを検討する事も必要と思えます。専門家に関わってもらってもらうのも良いかと思えます。</p>	<p>多くの方に地域活動や福祉に関心をもってもらえるような取り組みとして、本計画の中では、子ども向けの寺子屋事業やSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した情報発信の強化等をあげております。</p> <p>今後、ご意見を参考に取り組みます。</p>

3	基本目標1-(2) 5年後の姿の記載	寄付→活動→広報→寄付のサイクルの意味が良く分かりません。	活動の原動力として資金は必要なものです。皆様からいただいた寄付をもとに地域福祉活動を展開し、その活動を広報し知っていただくことで、さらなるマンパワーとしての協力やご寄付をいただくことができるような、よい循環をつくっていきたいという意味合いの記載でした。 意味の汲み取りやすい記載に変更いたします。
4	基本目標1-(2) 社協の取組	「ステップアップ研修の仕組づくり」ですが、例えば表で横が分野、縦がレベルのような一覧表があると、自分は今の分野のどのレベルの研修を受けており、次のレベルに進むにはどのような研修があるのか、他の分野ではどのような研修があるのかが分かり、自己研鑽の目安や次に進む動機付けにもなるかと思えます。	住民の皆様にご意欲をもって研修に参加していただけるよう、今後、具体的な取り組みを検討する際に、ご意見を取り入れさせていただきます。
5	基本目標1-(3)	社会福祉法人の連携について、どのような方針をもって取り組むのか	社会福祉法人等、福祉事業所の皆様とは、災害時や福祉についての普及啓発活動等、地域で協力できることは多くあると考えています。この計画実施の中で、具体的な内容について検討を進める予定です。
6	基本目標1-(3) 5年後の姿の記載	「地域診断」は地域の強み課題を地域住民が知り自ら解決していくのに重要だと思えます。やり方や先進事例等を講演会を開いたりして、地域住民に知ってもらう事も必要と思えます。	生活支援コーディネーターの業務、地域福祉を推進するためにも「地域診断」の手法を学び、活用していきたいと考えています。また、その際には、住民の皆様にも参画していただきたいと考えております。 今後、具体的な取り組みを検討いたします。
7	基本目標2-(1)	アフターコロナの地域活動について、地域住民とよく協議し、どのように活動していくのか検討してほしい	コロナ収束後の地域福祉活動については、各団体やボランティアの皆様とよく相談し、活動が活性化できるように取り組んでいきます。
8	基本目標2-(4)	・活動サポーター数に「のべ」を入れてほしい ・令和7年度の目標件数を1,300件にあげてほしい	ご指摘のとおり、修正いたします。社協としても団体の活動が活性化するよう支援いたします。

9	基本目標2-(1) 5年後の姿の記載	「身近なところにサロンの集える場所」をマップ化すると分かりやすいです。 市民から情報を募り随時追加していくと良いです。	現在、様々な機関でマップを作成し、周知を図っております。本会で作成することに加え、行政や他団体で作成されるマップにも積極的に掲載をお願いし、広報に努めます。 また、ご指摘のように情報の更新にも努めてまいります。 今後、具体的な取り組みを検討する際に、ご意見を取り入れさせていただきます。
10	基本目標2-(1) 5年後の姿の記載	「情報発信について」、男性は引きこもりがちになりやすいので、男性が行く床屋に上記マップや男性向けの福祉の情報をまとめた持ち帰り用のチラシや待っている間に目を通せる冊子のような物を置くと良いかと思えます	今後、具体的な取り組みを検討する際に、ご意見を取り入れさせていただきます。
11	基本目標2-(2)	「生活に困っている方」に(ヤング)ケアラーも対象に含める必要があると思います。埼玉県や藤沢市が先進的な事を行っていますので参考にすると良いと思います。 藤沢市は社協が食の支援を行っています。 <a href="https://sg.docworkspace.com/d/sIP69qvUvi6_9gAY">https://sg.docworkspace.com/d/sIP69qvUvi6_9gAY</a>	今後、具体的な取り組みを検討する際に、ご意見を取り入れさせていただきます。
12	基本目標2-(5)	「災害ボランティアセンター運営訓練」は慣れている人ばかりですと新しい気付きがしにくくなるので、新たな参加者を募る必要があると思います。またコアなボランティアについては全ての役割を体験して、いざという時に全体を取り仕切ることが出来るようになることも必要と思います。コロナが収束しましたら、地域の市町の社協と協力して大人数の訓練も行って(実際に車や駅から来てもらうところから)、より実際に近い訓練で課題を抽出して解決をしていく事も必要と思います。	災害ボランティアセンターの運営については、必要時に機能できるような準備を進めておきたいと考えています。感染症対策を行いつつ、近隣の町の社協や団体等との運営訓練を実施し、具体的な連携方法について検討を進めます。また、社協組織としては、日常的な業務を行うながらボランティアセンターを運営することができるよう、準備する予定です。今回、いただいたご意見を取り入れ、検討を進めます。

13	基本目標3-(2)	<p>「福祉サービスの提供」は、自分がケアマネをしていた時はケアマネが社協の事業の内容を以外に知らないなという状況でした。居宅介護事業所に社協の事業を説明した資料を配るとか、ケアマネや福祉関係者を対象にした社協の事業に関する研修を開く事も1つの方法かと思えます。</p>	<p>日々、様々な相談を受け付けている相談機関の方に対し、社協事業について知っていただくような場を持てるよう、具体的な取り組みを検討します。</p>
14		<p>福祉まちづくり推進委員会のような、ネットワークをつくり、取り組む検討はないのか</p>	<p>地域包括支援センターが現在開催している地域ケア会議や、今後、設置を検討する生活支援コーディネーター活動での協議体等、ネットワークをつくり、地域課題を解決できる方法について検討を進めます、</p>
15		<p>引きこもりの方に対する取り組みはないのか</p>	<p>本計画策定において、引きこもりの方に対する具体的な取り組みを十分検討することができませんでした。今後、本計画を推進する中で、現状を把握し、取り組みの方向性を検討していきたいと考えます。</p>
16		<p>この活動計画を遂行するために社協組織として、どのような体制で臨むのか、計画があるのか</p>	<p>本計画を遂行するためには、地域住民や行政との協力は必要不可欠ですが、同時に、社協組織の強化も必要となります。社協組織については、本計画策定後に「社協発展強化計画」を策定し、社協の体制整備計画を図ります。</p>